

名古屋大学では、平成29年(2017)3月に、人文系の部局が再編され、文学研究科は人文学研究科に生まれ変わります。そこで今回は、文学研究科の歩みを振り返り、新研究科の将来を展望するものにして考えています。

新研究科の理念の一つに、所謂「タコツボ」を排し、分野横断的教育研究を推進するという点があります。しかし、この課題に対して、今まで何もしてこなかったわけではありません。今回のシンポジウムでは、平成12年の大学院重点化の時期の取り組み、特に分野横断的教育を担う比較人文学講座の設置に焦点を当てることを企画しました。その前後に文学部長・文学研究科長をおつとめになったお二人の先生と、現役の教員一人に登壇を願い、当時の課題とこれまでの成果について議論を行い、それを通じてこれからの人文学研究科の展望について考えてみたいと思います。

人文学研究科

これからの

これまでと、

文学研究科の

文学研究科の歩みを振り返り、 新研究科の将来を展望する。

〈テーマ〉

分野横断的教育研究について

人文学研究科

文学研究科のあゆみ

昭和23年(1948)9月 文学部設置

昭和28年(1953)4月 新制大学院文学研究科設置

~~~~~

平成10年(1998)4月 文学部共通講座「比較文化学」設置

平成12年(2000)4月 大学院重点化

平成13年(2001)4月 大学院専担講座「比較人文学」設置

平成16年(2004)4月 独立行政法人化

平成29年(2017)4月 人文学研究科設置

山田 弘明 (名古屋大学名誉教授 元文学部長)

「大学院重点化の基本構想」

若尾 祐司 (名古屋大学名誉教授 元文学部長)

「人文学の将来性と分野連携を考える」

佐々木 重洋 (名古屋大学教授 文化人類学)

「分野横断的教育研究の可能性と課題  
— 比較人文学講座16年間の実践から —」

3/4 13:00~16:15(予定)  
2017. [土] 名古屋大学文学部 2階 237講義室

入場料無料・予約不要